

2 第5期 港南ひまわりプラン(区計画) において目指すこと

1 基本理念 …………… ▶▶ ふだんの 暮らしを しあわせに

港南区では、第1期計画(平成18~22年度)から「ふだんの暮らしを しあわせに」を基本理念としてきました。第5期計画においても、この基本理念を継承し、誰もがしあわせに暮らせる地域をみんなでつくりだすことを目指します。



2 目標 …………… ▶▶ 笑顔でくらするまちをつくろう

笑顔



地域の中で誰かと出会い、知り合う中で共感し、自分ができることに取り組み、みんながお互いに思いやり、支えあうことができるまちとして、誰もが笑顔で暮らすことのできるまちを思い描いています。

子どもたちの意見をもとに
誰もが覚えやすい目標としました

3 目標達成に向けた4つのアクション

知る

つながる

できることをやる

支えあう

人と人が出会い、知り合い、対話をする多くの機会を通して、新たな気づきや取組が生まれています。第4期計画で取組を進めた4つのアクションを継承しつつ、様々な人・団体の思いや活動を重ね合わせることで、目標の達成を目指します。

4 推進の主な視点

一人ひとりにとってより身近な計画となるように、また、福祉や保健の分野に限らず広い意味での計画となるように、地域で活発に行われているすべての活動が港南ひまわりプランの取組であることを示しています。

地域づくり

- 自治会町内会で行われているお祭りなどの様々な取組
- 自分の住むまちの歴史に関心を持つなど、地域を知るための取組
- できることを行うことで、自分の住むまちをより良くしていくための取組 など



安心・安全

- 地域防災拠点訓練の実施など、誰もが安心して過ごすための取組
- 登下校時の「港南ひまわり83運動」など、安全に暮らすための取組
- 防犯パトロールや消費トラブル防止の取組 など



環境・文化

- 地域の清掃活動、公園等の花壇の整備などのまちの美化活動
- 河川のクリーンアップなど、将来により良い自然環境を残すための取組
- 地域の歴史や行事など、伝統や文化を次の世代につないでいく取組 など



協働・参画

- 区民、企業、行政等と一緒に、課題解決につなげる取組
- 誰もが地域の中で、無理せず楽しく役割を持って活躍するための取組
- 地域で住み続けられるように、誰もがお互いに支えあう取組 など



健康づくり

- ウォーキングや体操教室など、地域におけるスポーツイベントの取組
- 食育や食生活改善の啓発に向けた取組
- 子どもから高齢者まで世代を超えた健康づくりの取組 など



目標

笑顔でくらせる まちをつくろう

目標達成に向けた
4つのアクションと
推進の主な視点

推進の主な視点にあるような、
様々な分野で
4つのアクションが進んでいくと、
「笑顔でくらせるまち」になるよね。



港南ひまわりプラン推進キャラクター
「こなちゃん」

推進の視点は5つに限らないよ。
新しく始まる取組も、
港南ひまわりプランの仲間だよ。



ウォーキング推進キャラクター
「ひまわりくん」



4つのアクションは、
どれがはじめてもなく、
バラバラでもなく、
お互いにつながっているよ。



港南ひまわり
83(ハチサン)運動のキャラクター
「83(ハチサン)太郎」

笑顔でくらせるまちに
するためには、
相手への思いやりが大切だね。



港南区社会福祉協議会の
マスコットキャラクター
「はむたん」

みんなの想い

- ☆地域の歴史や文化、施設や居場所など、自分たちの暮らす地域のことや、どんな人が地域で暮らしているのか知りたい、知って欲しい。
- ☆地域活動の楽しさ、やりがい、価値をみんなに気づいて欲しい。また、必要な情報や相談先が分かりやすくなって欲しい。



港南区の魅力を紹介 / まち・ひと・ダイアリー

港南区の皆さんに、このまちをもっと好きになってほしい。
港南区では、協働による地域づくりのパートナーとして、区長をはじめとする区職員が地域に足を運び、イベントや地域で活躍している人たちを、区ウェブサイト「まち・ひと・ダイアリー」にて、愛♥あふれる記事でご紹介しています。

皆さんの身近な活動も掲載されていますので、ぜひご覧ください！



▲区ウェブサイト「まち・ひと・ダイアリー」

5月4日 【野庭住宅地区】こどもの日イベント開催！

野庭住宅連合自治会主催の「こどもの日イベント」が、旧野庭中学校グラウンドで開催されました。当日は天気にも恵まれ気持ちの良い晴天のもと583名が来場、子どもたちのための素敵なイベントとなりました。また今回は野庭住宅地区を飛び越え、丸山台商店街、港南台自治会、上大岡第二町内会など他地区からも出店があり、大いにイベントを盛り上げていただきました。準備や運営に携わった役員の方さま、お疲れさまでした。



会場の様子。フリマやゲーム、軽食など素敵な出店がいっぱいです。



恒例の鼓楽彩(このいる)さんの太鼓の演奏もあり、楽しいイベント盛りだくさんでした。



野庭住宅地区担当 福祉保健課長、総務課統計選挙係長

後列左から 港南区連合町内会長連絡協議会 古屋会長、富岡副会長、栗原区長、山口港南消防署長、前列左から 野庭住宅連合自治会 黒川会長、野庭住宅地区社会福祉協議会 播磨会長

▲「まち・ひと・ダイアリー」掲載記事の一例

こんなことに取り組もう！

地域のことに興味を持ち、学ぶ機会を持つ。
地域のイベントや活動に参加するなど、様々な人と知り合う中で新たな気づきを得よう。また、地域の情報などを、相手に届きやすい方法で分かりやすく伝えよう。



たとえば・・・

「知る」×「地域づくり」
＝ 多様性の理解 など

- 一人ひとりの個性や違いを理解して、様々な思いを知ろう。



「知る」×「安心・安全」＝ 災害対策情報 など

- 安心して暮らせるよう、災害の備えや防犯について知ろう。

「知る」×「環境・文化」＝ 港南区の歴史や風土 など

- 港南区を大切に思えるように環境や歴史について知ろう。

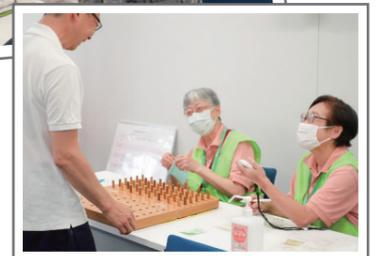
「知る」×「協働・参画」
＝ 地域の活動情報 など

- このまちで活躍する様々な人や団体の活動について知ろう。



「知る」×「健康づくり」
＝ ヘルスケア など

- 健康の維持や増進、予防に関する取組や支援について知ろう。



みんなの思い

- ☆ 家族や友人、近所の人などつながりがない人が増えている。
- ☆ 誰もが気軽に参加できる場所や気軽に話せる仲間がいることが大切だと思う。
- ☆ 地域で活動している人もほかの活動者と知り合い、話し合う機会があると、新たなつながりができ、活動の元気をもらえる。



港南区民による港南区民のためのお祭り / こうなん子どもゆめワールド

「こうなん子どもゆめワールド」は、子どもたちを主役とする区内最大級のイベントです。子どもたちによるステージ発表のほか様々な団体や地域の皆さんによるブースの出店にぎわいます。



▲ゆめワールド会場



▲子どもスタッフ

▲ステージ発表

また、100人近くの区民の皆さんにより運営されており、自治会町内会をはじめとする大人のスタッフとともに、ステージの司会や出店スタッフとして子どもたちが活躍しています。

メタバース会場でも楽しめる！

スマホやパソコンから参加できるメタバース会場を開設。いろいろなコンテンツがあり、「だれでも・どこからでも」ゆめワールドを楽しむことができます！



▲こどもゆめスタジアム



▲メタバース会場



◀メタバース作品展

こんなことに取り組もう！



地域で行われるイベントやサロンなど、様々な人が出会い、つながる機会をつくろう。また、誰もが参加しやすい環境を整えよう。一緒に活動する仲間だけでなく、世代や分野、団体を越えた仲間とのつながりも意識しよう。



たとえば・・・

▶ 「つながる」×「地域づくり」
= イベント・サロンへの参加 など

- 人々が集まる場所に参加して地域の誰かとつながろう。



▶ 「つながる」×「安心・安全」
= あいさつ運動 など

- あいさつを通じてご近所や地域と顔見知りになろう。



▶ 「つながる」×「環境・文化」
= 清掃活動・花壇の整備 など

- 身近な活動に無理なく参加して地域を知りつながろう。



▶ 「つながる」×「協働・参画」 = 趣味や特技を生かせる場への参加 など

- 同じ思いや活動をしている人たちとつながろう。

▶ 「つながる」×「健康づくり」 = 健康に関するイベントへの参加 など

- 離れた場所でもウェブを通じて一緒に健康づくりに取り組もう。

できることをやる

みんなの想い

- ☆自分ができると、楽しく取り組むことが大切だと思う。
また、一人ひとりが役割をもって地域活動に参加できるといい。
- ☆誰かの支えを必要とする人でも、誰かを支えることもできることを知って欲しい。
- ☆地域の情報を、自分から受け取ろうとすることや、困ったときにまわりに助けを求めることも大事だと思う。



健康アクションこうなん5 / ふだんのくらしをけんこうに

健康寿命の延伸を目指し、「健康アクションこうなん5」の合言葉のもと、5つの生活習慣病予防分野に沿った健康づくり活動を推進します。

あるこう！毎日

日常生活でこまめに体を動かすことを意識し、座りすぎに注意しよう。外出ができる人は、まず歩いてみましょう。



食べよう！野菜

野菜は1日に350g以上食べ、塩分を控えよう。



まもろう！歯

毎食後、正しいお口のケアをし定期的にかかりつけ歯科医による歯のチェックを受けよう。



なくそう！たばこの煙

自分にあった禁煙方法を見つけるために医療機関・福祉保健センターで相談を受けてみよう。



やすもう！しっかり

起きる時間は休日でも同じ時刻にしよう。就寝前はスマートフォン等で明るい光を浴びすぎないようにしよう。



こんなことに取り組もう！

自分・家族の将来や健康について考える機会を持ち、できることから始めてみよう。

自分が暮らしている地域の情報をキャッチして、イベントなどに参加してみよう。また、自分の経験やできることを生かして、誰もが地域で活躍できる機会をつくろう。



たとえば・・・

▶ 「できることをやる」×「地域づくり」
= まわりの人への気づきや配慮 など

- 自分の思いを伝えることや相手の思いを理解しよう。



▶ 「できることをやる」×「安心・安全」
= 消費トラブル防止の取組 など

- 周囲の人と気にかけてあい、消費トラブルの防止に努めよう。



▶ 「できることをやる」×「協働・参画」
= 食品ロスの削減 など

- フードドライブなど食に困っている人を助けられる取組に参加しよう。



▶ 「できることをやる」×「協働・参画」= 交流の場への参加 など

- 地域や世代をこえた交流の場などへ参加してみよう。

▶ 「できることをやる」×「健康づくり」= 健康チェック・健診を受ける など

- 毎日の健康状態を把握して運動などに取り組もう。

支えあう

みんなの思い

- ☆誰もが安心して暮らせる地域をつくるために、日頃からの見守り・支えあいの活動や、自治会町内会による防犯・防災の取組が大切だと思う。
- ☆夏祭りなどのみんなが集う機会を継続していくことや地域の歴史・文化を継承すること、自然環境を守ることで住みやすい地域にしていきたい。

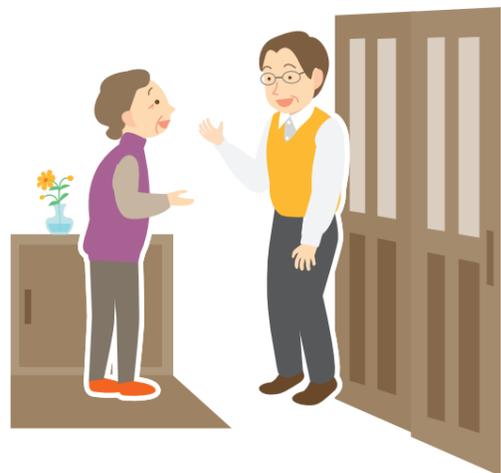


福祉ネットワーク / 日頃から「おたがいさま」の関係づくり

誰もが住み慣れた地域で、孤立せず豊かな人間関係に囲まれながら、地域に役割を持っていきいきと生活できることを目的にした住民同士の助け合い事業です。

地域住民一人ひとりの困りごとに耳を傾け共有し、解決に向けた検討を行い取り組むことで、お互いがつながり、寄り添う地域を目指します。

このような取組が区内全域であるのは、市内でも唯一です。無理なくできる範囲で日頃から「お互いさま」の関係づくりをしていきましょう。



こんなことに取り組もう！



まわりの人に関心を持ち、ちょっとした変化に気づこう。
日頃から声をかけ合い、顔の見える関係を築き、いざというときに助け合えるまちにしよう。
地域の行事や住みやすい環境などを次の世代につなげていこう。

たとえば・・・

① 「支えあう」×「地域づくり」
= ボランティア活動への参加 など

- 自治会町内会や地区社協の活動に参加して地域を支えあおう。



② 「支えあう」×「安心・安全」
= 見守り活動 など

- お互いを気にかける見守り活動を通じてご近所同士で支えあおう。



③ 「支えあう」×「協働・参画」
= 港南区をふるさとと思える取組 など

- 地域を愛する心を次の世代につなげていこう。



④ 「支えあう」×「協働・参画」 = こうなん災害時協働隊 など

- 地域と企業等がつながり、互いに支えあえる関係をつくろう。

⑤ 「支えあう」×「健康づくり」 = 食育や食生活改善に向けた取組 など

- 食を通じた健康づくりの意識を高めよう。

6 推進の主な視点の取組

地域づくり

子どもたちの笑顔もいっぱい

日野第一地区では、子どもたちに向けて2つのイベントを行っています。一つは日野川鯉のぼり子どもまつり。日野川にたくさんの鯉のぼりが舞い、障がい者作業所の出店をはじめ、多くのお店が出ます。令和7年には子どもたちが開くお店も出ました。もう一つのひな祭りはコロナ禍収束の頃に始まったお祭りですが、連合会館に飾られた立派なひな壇を見て、甘酒を飲んだり、楽しいイベントもある季節の行事です。どちらも地域の子どもの笑顔を見たいという地域の人々の思いが詰まった行事です。



新春恒例！港南台凧あげ大会



新春恒例の当イベントは、地域の団体や住民たちが協力して、令和2年から始まりました。毎年、多くの人々が参加し、広々とした会場が賑わっています。当日は、凧作りコーナー・昔遊びコーナー・ゲームコーナー等が設けられ、凧はその場で簡単に作れますが、自慢の凧を持参される人も多く見られます。

また、凧あげ名人やコマ回し、けん玉の達人が技を披露する場面も見ることができます。子どもから大人、高齢者まで様々な世代の人々が集まり、世代を超えて楽しく交流しています。



音楽でつながる、世代をこえたふれあいの輪

「ふれあいコンサート」は、令和7年で21回の開催を数える日限山中学校区の住民にとって、多世代が交流できる手づくりの音楽イベントです。出演者と来場者が一体となってコンサートを創り上げることで、音楽を通じた感動の共有と、小中学生から高齢者までのふれあいが生まれています。



安心・安全

～思いを共有！地域に住む誰もが安心・安全に暮らすことができる様に～ ママサロン

下永谷地区在住の個別支援学級や特別支援学校に通う児童・生徒の保護者を対象にしたサロンを開催しています。「学校のこと」「災害時の不安」「卒業後の行先」「病院のこと」「地域のこと」など気になることを話しています。本サロンでは地域とのつながりをもてる場としての役割を担いつつ、また、地域と一緒に活動の幅を広げるための意見や情報の交換を行っています。



区役所、基幹相談支援センター、生活支援センターの専門職や、特別支援学校の先生も参加しているので気になることも質問でき、参加している先輩ママさんからの体験談を聞くこともできます。地域の誰もが安心・安全に暮らしていけるように情報発信していきます。

ヘルスマイトによる「いざ食 調理実演」

災害時に役立つ食事づくりを知ってもらうため、地域防災拠点訓練の中で、食生活等改善推進委員会（ヘルスマイト）の皆さんによる「いざ食 調理実演」が行われました。訓練に参加された地域の皆さんに向けて、災害時でも手軽に作れるようポリ袋を使い、不足しがちなビタミンがとれるレシピで調理を実演されました。

災害時に戸惑わずに調理できるようにするためには、普段の食事のレパートリーとして実践しておくことが大事ですと、拠点訓練に参加された人へ紹介していました。



地域の安全のために！防犯パトロール



自治会町内会や団体等の地域の皆さんが、安全で安心して暮らせるまちづくりのため、定期的に防犯パトロールを実施しています。ごみを拾いながらのパトロールやハロウィンに合わせた子どもたちも参加したパトロールなど、各地域で工夫をしながら取り組まれています。

また、10月から12月にかけて、港南警察署・港南消防署・区役所の職員が、地域の皆さんと一緒にパトロールを行っています。

環境・文化

元禄から絶やさず守る地域の誇り

元禄の頃から伝わっているという鹿嶋神社の射(まとい)。節分に上大岡駅前のビル街を、裃(かみしも)をつけた町内会長などの役員が、人がすっぽり隠れる程の張り子の射を持って神社まで練り歩きます。



的に書かれた文字は鬼。神社境内に運ばれた的に向け、年男である小学5年生や会長が矢を射、最後にその的に火を放ちます。

心の中に潜む鬼を射抜き、平和な一年を祈り執り行われる、地域の人が「ふるさと上大岡」の思いを込めて大事に守っている行事です。

地域の力で「まち」をきれいに！



笹下地区は毎年連合・地区社協の行事として、近隣の中学校・青少年指導員・スポーツ推進委員・環境事業推進委員・資源循環局・土木事務所など様々な機関と協力して大岡川のクリーンアップを行っています。中学生を中心に、最近ではWEB申し込みの一般参加者も一緒に活動をしています。

若い世代やこれまで地域行事を知らなかった新しい人にもイベントに参加してもらうことで、「地域」を知り、関心をむけて地域行事への参加につなげています。



～世代を超えてまちをきれいに～ クリーンスポーツ大会

平成22年から開催をしているクリーンスポーツ大会。毎年2月に開催しており、ごみのない、きれいなまちづくりのため、地域の皆さんが、スポーツ感覚で参加をしています。ごみを拾いながら分別し、制限時間内にゴールである芹が谷南小学校を目指します。

大会当日は子どもから高齢者、学校や福祉施設、行政等から多くの人々が参加しており、地域の世代を超えた様々な人々が交流を図りながら楽しんでいます。大会を通じて、まちの美化や住民同士のつながり、地域への関心にもつながっています。



協働・参画

私のしあわせ、みんなのしあわせ —永野地区から育てる地域の未来— 「永野地区全体会議」

永野地区では、よこはま地域福祉研究センター長の佐塚玲子氏を招き「実現しよう！人と地域と私のシアワセ～今、永野地区みんなの声、未来を描こう～」という講演を全体会議で行いました。グループに分かれ、「今、私のシアワセ&私の心配」「永野地区のこども・若者たちは護られている？」「人生100年時代永野地区の高齢者の暮らしを守るために必要な事」という3つのテーマを参加者80人で話し合いました。活発な意見交換から、たくさんの意見がでました。

誰もが住み慣れた地域で安心して楽しく生活できるよう、地域をみんなにより良くしていくために話し合いを行っています。



～自分たちのまちの事を みんなで考えよう～ 芹中1年生との支えあいネットワーク

永谷地区では地域住民や小中学校の先生、福祉施設や商店を招いて支えあいネットワーク(意見交換会)を実施しています。令和6年度は「子どもたちの声を聞こう」をテーマに芹が谷中学校1学年全員と支えあいネットワークを開催しました。そこでは子どもたちが地域のイベントのお手伝いをしたいとの意見が多くあり、地域に対して関心を持っていることが分かりました。



その後、支えあいネットワークを通じて、どのような取り組みなら一緒にできるか考えた結果、永谷連合の夏祭りの中で中学生が運営するブースを設けることとなりました。当日は10人以上の子どもたちが運営し、地域のお祭りを大いに盛り上げました。



つながりがつながりの輪を育む 坂のまちの交流会

令和4年、地域の商店・事業者を知ってもらうきっかけになればと、楽しみながらまち歩きをして店舗を回る「坂のまちのハロウィン」を行いました。笑顔が溢れて、素敵な交流の機会になりました。これが「坂のまちの交流会」の出発点です。そして翌年の春、まちのてっぺんにある日野南公園で「坂のまちのフェスティバル」を開催しました。地域のお店や事業所、フリーマーケットや得意を活かしたい住民によるワークショップや歌・劇などステージ・・・イベントを行うたびにに関わる人、担い手が増え、楽しいまちづくりの仲間が増えています。



健康づくり

～歩いて見つける日下の魅力～「日下みんなでウォーク」

日下のまちには、知れば知るほど惹かれる歴史がたくさんあります。そんな魅力を若い世代にも伝えていきたい——そんな地域の人々の思いからスタート。年齢問わず誰でも気軽に参加できるようにと、委嘱団体の人々が中心となり、「日下と言えばウォーキング」と言われるような、地域に根づいた活動へと育てていきたいという思いも込められています。

ウォーキングを通じて「健康づくり」にもつながるだけでなく、日下の古きを訪ねながら、参加者同士の自然な「交流」が生まれ、世代を超えた「つながり」が広がっていくのもこの活動の魅力。地域に根づく活動として、少しずつ形になり始めています。



～みんなで健康チェック！ ひまわり健康フェア



港南区保健活動推進員会では11月の第1土曜日に実施されるひまわり健康フェアで健康測定ブースを出展しています。血管年齢測定や長座体前屈、手腕作業測定、握力測定による健康チェックのほか、がん検診啓発も実施しています。

健康チェックには子どもや働き世代、高齢の人まで幅広い世代の人にご参加いただき、非常に大盛況です。

測定が終わると結果を一緒に確認し、地域で実施している体操教室などを紹介するといった、健康づくりのサポートも欠かしません。

地域の皆さんの健康維持を目指してこれからも活動していきます。



～未来の歯と口を育む地域の力～ 歯科医師会と地域協働～

港南区では毎年6月、「歯と口の健康週間」にあわせて、歯科医師会や地域の皆さんと協力しながら、楽しく健康づくりを進めています。

乳幼児の歯科健診やフッ素塗布に加え、保護者向けの健康チェックや食育体験も同時開催。野菜の摂取量アップを目指した啓発も行い、親子で参加できる内容が盛りだくさんです。



予約なしで気軽に立ち寄れる工夫もあり、働く世代や子育て中の人にも好評です。地域みんなで、未来の笑顔を育てています。



自立への一歩、地域とともに ～生活困窮者自立支援制度のご紹介～

生活困窮者自立支援制度は、「制度のはざま」にいる人々を支えるために作られました。失業や病気、家族の問題など、さまざまな理由で生活に不安を抱える人が、孤立せず、自分らしく暮らせるように支援する制度です。

港南区では、相談窓口で一人ひとりの状況に寄り添いながら、就労支援や家計改善支援、住まいの確保など、本人の希望や状況に応じた「伴走型支援」を行っています。

相談者からは「誰にも頼れないと思っていたけれど、話を聞いてもらえてホッとした」「少しずつでも前に進めるようになった」「自分のことを否定されない場所があると知って安心した」といった声が寄せられています。また、「長く就職できずに悩んでいたが、支援員と一緒に準備を進める中で、ようやく働く一歩を踏み出した」との声もありました。



こうした支援は、多くの場合、地域の人々の見守りや周囲の人々からの相談の後押しによって、支援のきっかけが生まれ、前に進む力につながっています。小さな一歩が、大きな変化につながるように、今後も、誰もが安心して暮らせる地域づくりを、皆さんとともに進めていきます。

子どもを取り巻く状況を知っていますか？

子どもをめぐる課題は、貧困、いじめ、虐待、孤立、教育格差、不登校など多岐にわたります。また、本来大人が担うとされる家事や家族の世話などを行うヤングケアラーの問題など新たな課題も見つかっています。



複雑化、多様化する課題に対して港南区では子どもの支援を行う団体を中心に専門職も参加する「不登校・ひきこもり連絡会」を開催しています。

子どもたちの現状を知り、私たち一人ひとりができることを考え、支援の輪を広げていきましょう。



7 港南ひまわりプラン推進の取組

桜と水辺がつなぐ、多世代交流の場

下永谷地区の春の風物詩「平戸永谷川さくらまつり」は、地域住民が長年手入れを重ねてきた桜並木のもとで開催されます。川の清掃や桜の管理を担う水辺愛護会をはじめ、町内会・自治会・地域団体・学校など多様な主体が連携し、出店や演芸披露を通じて世代を超えた交流が生まれる貴重な機会です。

小学生による総合学習の発表の場ともなっており、水辺を起点とした活動を通じて地域の自然や環境への理解を深めています。子どもから高齢者まで、多世代が関わり合い、地域の絆を育む行事として親しまれています。



「やってみたい」が、まちの未来を創る



新世代創造ミーティングは、地元の高校生と大学生による企画を考えるグループです。令和6年度は「自分たちも学びたい!」という共通の思いから、防災をテーマに企画を考えました。「小学生のうちから防災について考えてほしい」という願いを込めて、楽しく学べる『こどもクイズラリー』を開催。



新世代創造ミーティングのロゴは美術部の中学生が制作。



学生のうちから、楽しみながら地域に貢献することで、将来の地域の担い手となるきっかけにもつながるかもしれません。新世代のひらめきが、まちに新しい風を吹き込んでいます。

港南よこはまメディカルフェスティバル

地域で青少年指導員として活動している医師が発起して令和6年から開催している医療福祉啓発コンテンツ。地域住民に今後向き合う健康・病気などの課題やいのちの大切さを知ってもらう、またその健康課題への解決方法を学び、今後起きる問題に行動でき、起きる前に準備を備えるようになるための知識を身につける機会です。子どもたちには体験や



イベントを通して、今後の社会問題を考えるきっかけを提供し医療だけではなく、その根本となるいのちの大切さへの関心を高めてもらう機会としています。区内外の医療・福祉団体が賛同し毎年、様々なコンテンツを発表しています。



オレンジリボンたすきリレー

子どもたちの明るい未来と子ども虐待防止の願いを込めた「オレンジリボンたすきリレー」も令和7年に第17回を迎えました。都心・川崎、横須賀・横浜、湘南の3コースで、ボランティアがゴール地横浜を目指して、オレンジリボンのたすきをつけて走ります。

港南中央地域ケアプラザも第10回から中継点として参加し、イベントに参加してくれる人々と一緒にランナーにエールを送ってきました。「オレンジリボン」について多くの人に知っていただき、子育て支援の協力者が増えることを願っています。



子どもたちの安全のために

子どもたちの安全を守るため、学援隊など地域の皆さんが、登下校の見守り活動をしています。日々、通学路に立ち、あいさつや声かけをしながら、子どもたちを温かく見守っています。

また、港南区では子どもたちを見守る環境づくりとして、「港南ひまわり83運動」を地域全体で進めています。



港南ひまわり83(ハチサン)運動

「犬の散歩やお買い物、家の周りのそうじなど、外での用事を小学生が登下校する時間帯(8時頃と3時頃)にしよう」というもの。

「こどもまんなか社会」の実現を目指して

横浜市は、横浜のすべての子どもたちが、地域のかかわりの中で、豊かに育ち、あたたかな社会をつくる原動力となるよう、また、心身の状況や置かれている環境等に関わらず、一人ひとりの健やかな育ちが等しく保障される「こどもまんなか社会」の実現に向けて、取り組んでいます。

その取組の一つとして、「こどもが意見を表明する機会の確保」があり、子どもが対象となる様々な施策・事業において、子ども自身の意見を聴き、その意見を反映させるよう努めています。

この「港南ひまわりプラン(第5期港南区地域福祉保健計画)」においても、子どもも含め区民の皆さんから意見募集を行い、計画に生かしています。



～ハートでつながる～ ハート de 交流ポッチャ

大久保最戸地区では、①乳幼児を持つ親子、②高齢者、③障がい児・者を対象として、年間3つの「ハートカフェ」が開催されています。令和6年度は、障がい児・者を対象としたカフェの代わりに、ポッチャを通じた交流会「ハートde交流ポッチャ」が、初めて開催されました。開催にあたっては、地区社協の人が、大久保最戸地区にあるすべての障がい事業所等に出向き、ご案内をしました。

当日はご参加いただいた皆さんと、ポッチャを楽しんだあとは、お茶とお菓子で労い合い、お話に花が咲いていました。直接訪問・お話することで、その後の活動にもつながるなど、この活動を通じて、交流が深まっています。



安心を届ける見守り活動

民生委員・児童委員は、地域の皆さんが安心して暮らせるよう、日々見守り活動を行っています。高齢者や子育て家庭、障がいのある人など、支援が必要な人々に対して、定期的な訪問や声かけを通じて、孤立の防止や早期の支援につなげることを心がけています。ちょっと



した変化や困りごとに気づき、必要に応じて行政や関係機関と連携し、地域全体の福祉向上に貢献しています。顔の見える関係づくりを大切にしながら、誰もが安心して暮らせる、温かい地域づくりを目指して活動を続けています。



スポーツを通して広がる交流



日野地区では、日頃より各自治会町内会でグラウンドゴルフやモルックが盛んに行われていますが、「日野地区シルバー友愛スポーツ交流会」では港南北公園を会場に年2回ずつ大会を実施し毎回約60人が参加、町会対抗や混合チームで交流を楽しんでいます。休憩タイムも、おしゃべりやボードに貼られた標語を話題に盛り上がります。また、それぞれの町会のイベントで地域の人、子どもたちと一緒にグラ

ウンドゴルフ、モルックを楽しんだり、日野中央公園で定期的で開催される「モルック体験会」の指導をするなど、スポーツを通じた交流の場づくりに積極的に取り組んでいます。



こうなん来夢

「こうなん来夢」は、港南区にある障がいのある人の仕事や活動の場である福祉事業所の集まりです。それぞれの事業所では手仕事で生み出される優しい雑貨、心をこめて焼き上げたパンやお菓子、味わい豊かなお弁当等魅力あふれる製品作りに日々取り組んでいます。

来夢では製品の販売を通じて地域の皆さんと温かな交流を育んでいます。港南区役所や区内の商業施設等で販売会を開催し、訪れる人々との会話や笑顔があふれる場になっています。年に1度の来夢マルシェは多くの人が開催を心待ちにしています。

お近くで「こうなん来夢」の販売会を見かけた際は、ぜひお気軽にお立ち寄りください。きっと、あなたの「好き」が見つかるはずです。



障がいのある方や福祉事業所職員による「障がい理解」の取組

障がい理解・啓発のために、各地域で様々な取組が行われています。例えば、見た目では分からない障がいを理解するための講演会、映画を見るだけでなく監督の思いも聞いた映画上映会、障がい福祉事業所の利用者・職員による郵便局職員やスーパー従業員に向けた研修会など。また、子どもたちに向けた、障がい福祉事業所によるワークショップも開催されています。



こうした講演会やワークショップでは、障がいのある人も講師として活躍しています。

地域の人が
主催した
障がい理解の講演会



成年後見制度をご存じですか？～あなたの権利を守るために～



成年後見制度とは認知症や知的障がい・精神障がい等の理由で判断能力が不十分な人に代わって、家庭裁判所に選ばれた成年後見人等がご本人の意思を尊重しながら預貯金や不動産等の財産を管理したり、介護や医療、福祉サービスの手続きや契約をしたり、日常生活上の様々なサポートをしてくれる制度です。

制度利用に関する相談は、地域ケアプラザ・基幹相談支援センター・区社会福祉協議会あんしんセンター・区高齢・障害支援課までお問い合わせください。

また区役所では、弁護士・司法書士・行政書士・社会福祉士等の専門職から、対応困難事例に対してアドバイスをもらい、成年後見制度の普及啓発を推進する「成年後見サポートネット」を実施し、地域における権利擁護支援の充実に取り組んでいます。



ふるさとのば福祉の集い ～ポッチャとレクリエーションによる交流～

野庭団地地区社会福祉協議会と野庭団地連合自治会の共催で、「ふるさとのば福祉の集い」を開催しています。

令和7年度はポッチャとレクリエーションという内容で、ポッチャは、試合に出ている選手も観戦者も会場内は、熱気に溢れ、大変盛り上がり一体感も感じられました。レクリエーションでは、手遊びやゲームを通して参加者同士笑顔が溢れました。



地域の居場所「地域食堂・子ども食堂」を知っていますか？

食を通じて、地域の子どもや大人が集まりホッとできる場所としての「子ども食堂・地域食堂」の活動が広がっています。誰かと一緒に食事ができるこの取組は孤食を防ぎ、人とつながることができる場として、地域に欠かせない活動となっています。

港南区では「子ども・地域食堂連絡会」を開催し、衛生について学びや各団体の取組について共有し、安全に安心して活動ができるように取り組んでいます。

まずはご近所の地域食堂・子ども食堂に参加してみましょう。



～モノだけじゃない、つながりをお届け～ お渡し会



野庭住宅地区社会福祉協議会主催、家計応援として、お渡し会が定期的に行われています。マスクなどの日用品や、お米や菓子類など食料品も用意し、住民にお渡しをしています。集会所でのお渡しのほか、集会所でのお渡しに難しい人へは自治会の人々がお届けをすることも行っています。野庭住宅地区の皆さんに、大変喜ばれている取組の一つとなっています。



移動販売 ～地域をつなぐ買い物支援～



港南区では、高齢者など買い物が困難な人々を支えるため、地域と民間事業者が連携した移動販売を支援しています。単なる買い物の利便性だけでなく、販売員や近隣住民との交流による見守り効果、外出のきっかけづくり、買い物を楽しむことによる介護予防など、多面的な効果が期待されています。

地域の声をもとに販売場所の調整や事業者とのマッチングを区、区社協、地域ケアプラザがサポート。地域のつながりを大切にしながら、持続可能な支援を目指しています。

「自分サイズ」で始める地域参加 ～ボランティア展&相談会開催～

令和7年9月18日・19日、港南区役所1階区民ホールにて「自分サイズのボランティア展&相談会」を開催しました。地域ケアプラザの活動紹介や、生活困窮者自立支援制度の案内、ひきこもりをテーマにした映画上映などを通じて、「自分が得意なことや好きなこと」が誰かの役に立ち、地域とつながる力になることを知る良いきっかけの場となりました。



来場者からは「自分にもできることがあると感じた」「地域との距離が縮まった」といった声が寄せられ、誰もが無理なく地域参加し、人と人とのつながりが少しずつ広がっていく可能性を感じる2日間となりました。今後も、こうした取組を続け、地域の中で支えあえる関係づくりを育んでいきたいと考えています。

学び舎ひまわり

現在地域で活動している人が「協働による地域づくり」をさらに進めていけるよう、様々な方面から地域づくりについて考えていく場、それが「学び舎ひまわり」です。平成25年にスタートし、現在卒業生は300人を超えています。

開校10周年を迎えたことを機に、協働による地域づくりの輪を広げるため、港南区内の地域企業にお勤めの方も対象にしました。

講座ではまち歩きや地域活動事例の検証、マイプラン(いつか実現したい取組)の作成などを行い、講座を通して受講生同士のネットワークも形成されています。

